

Title ぶくかん農食品文化交流

Date 2017.3.17



全州の市民団体や福島県の吾妻地区とヒョジャ洞地区同土姉妹提携実行委員会のみなさまの協力のもとに、全州市民との交流会が実現しました。皆さまのおかげで、全州大学を会場にとっても温かいムードに包まれた和やかな交流会となりました。時間を費やし、心を込めて歓迎して下さったことに、私たちは胸が熱くなるのを覚えました。市民レベルでのつながりの大切さを感じることができました。



ぶくかん農食品文化交流会の歓迎会
会場
会場：全州大学、
芸術の殿堂



式順、芳名録、招待チケット。準備に韓国事務局は頑張ってくれました。



ぶくかん農食品文化交流会の歓迎会会場
(全州大学、芸術の殿堂)

挨拶する、全州市ヒョジャ洞 地域間交流実行委員会委員長 パクヨンウ全州大教授から、福島代表安齋忠作さんに花束を贈呈。

八木沼恵子さんによるプレゼンテーション。福島の米、果物の安全性を強く訴えました。スクリーンに映し出される農業に真剣に取り組む姿が、韓国の人たちの心に響きました。

司会進行イムソンジェさん、通訳の花子さん



Title ぶくかん農食品文化交流

Date 2017.3.17



八木沼家
リンゴジャム（上）
吾妻産の米（下）

福島の米のおいしさが
際立つ料理も満載

【福島のおいしい米を食べていただきたい】

ぶくかねっとの事務局の情熱で提供した福島の米を使った料理のいろいろ。甘酒（식혜），お餅（떡），白いご飯にカレー。韓国のプロのお料理士が雑穀ご飯と、野菜炒めご飯をつくるというので、「いけません、真っ白いご飯にしてください」と、半ば怒鳴ったので、びっくりされてました。



入場者に福島産の米、リンゴジャムを渡す、事務局



はるばる大田から来てくれた来賓。
韓国文化財庁、保存局長。
今回は友達として参加。



笑顔がいっぱい

再び出会ったよろこび



福島の日本酒は人気抜群。
試飲程度に提供しました。

韓国側の18時までの芳名録
180名、福島から60名、18
時以降に48人というデータ。

